

## 万博×環境 未来を描こうプロジェクト 2020年度 第2回 ミーティング 議事録

- [日 時] 2020年11月17日(火) 18時～20時30分
- [会 場] 大阪府咲洲庁舎(さきしまコスモタワー) 37階会議室
- [参加者] チームメンバー10名(うちオンライン出席2名)、  
企業・団体関係者3名(うちオンライン出席1名)、スタッフ4名
- [概 要] 今年度の検討メンバーの顔合わせと、アイデアの更なる検討、今後の検討の進め方の共有のため、令和2年度の第2回ミーティングを開催しました。第1回のミーティングの内容について振り返った後、これまでの各グループで打ち合わせたことを発表し、全体で共有しました。その後、グループごとに分かれて、企業や団体と連携して、パートナーになってもらうため、現状の課題や今後の進め方を考えました。企業における取組みについても説明を聞き、意見交換を行いました。  
次回のミーティングまでに各グループで話し合い、アイデアの実現に向けて、企業・団体と連携を進めながら、更なる検討を進めることとしました。
- [次 第] 1. 第1回ミーティングの振り返り  
2. 全体で自己紹介  
3. 出席企業・団体の紹介・御挨拶  
4. グループ内打ち合わせ結果の発表  
5. ワークショップ「連携先とアイデアを共有しよう！」  
6. 事務連絡

### 1. 第1回ミーティングの振り返り

振り返りとして、前回のミーティングを振り返りました。

### 2. 全体で自己紹介

対面での初開催だったため、オンライン出席メンバーも含めて、改めて自己紹介をしました。

### 3. 出席企業・団体の紹介・御挨拶

チームメンバーのアイデア実現に向けて連携を進めていくにあたり、今回御出席いただきました企業・団体の皆様の御紹介と、万博に向けての取組みや本プロジェクトに対する思い等を御挨拶いただきました。

出席企業・団体：(公財)地球環境センター、(株)三菱総合研究所、(株)エコスタイル

### 4. グループ内打ち合わせ結果の発表

これまでグループで打ち合わせしてきたことを、各々資料を用いて発表し、チームメンバーでアイデアを共有しました。

- 防災：  
万博×防災をテーマに、咲洲・大阪・世界へと広がっていくような万博らしい取組を検討した。防災ポーチ、備蓄品のローリングストック、「東京防災」冊子の大阪版など。
- 海の豊かさを守ろう 陸の豊かさも守ろう：  
新規に加わったメンバーとアイデアを共有し、課題を検討するとともに、CO2シミュレーションというアイデアを中心に検討を進めていくという方向になった。
- 3R：  
リユース食器をメインに、もっと普及していくように検討を進めていきたい。またマイボトルの普及のため、給水機からドリンクバーのように利用できる方法を他地域の先進事例を参考にしながら検討した。

- まちづくり：  
環境やSDGsについて身近に感じてもらうため、環境やSDGsを題材にしたカードゲームづくりを検討している。そのためにも、実際に環境をテーマにしたカードゲームの事例を調べていきたい。
- SDGs ポイント：  
SDGs 達成のための行動変容を促すため、ユーザーや加盟店、運営者をはじめとしたステークホルダーに、SDGs ポイントというインセンティブを与えるシステムを検討している。サステイナブルポイントを検討しているチームのアイデアと通ずるところもあるので、今後一緒に検討していきたい。

---

## 5. ワークショップ「連携先とアイデアを共有しよう！」

---

本プロジェクトでは、チームメンバーのアイデアの実現に向けて、若者といっしょに実現・発信したい、若者アイデアを採用・検討したいという企業や団体と連携して、パートナーになってもらうことが重要です。そのため、出席企業・団体の方を交えながら、グループごとに以下の内容で、ワークショップを実施しました。

《企業・団体とアイデアを共有しよう！》

- チームメンバーから企業・団体の方に、アイデアの検討状況及び現状の課題を説明。
- 企業・団体からの質疑・応答

《アイデアを深めてみよう！》

- アイデア実現に向けて考えられるアイデアを洗い出す（またはアイデアを深める）
  - ・ 連携にあたり、企業・団体がチームメンバーに求めること
  - ・ チームメンバーが企業・団体に求めることについて意見交換。

また、(株)三菱総合研究所さんから、同社の万博に向けた取組みとして、万博に向けて事業を検討する企業が参加する「万博みらい研究会」の取組み紹介や、東京都千代田区大手町界限で時差通勤・SDGs 貢献活動を促進する地域通貨「東京ユアコイン」の実証実験結果を紹介いただくとともに、年末を目途に検討している企業との研究会のイベントにおいてチームメンバーのアイデアを発表できる場を設けていただくことについてお話しいただきました。

---

## 6. 事務連絡

---

前回と同様、次回の全体ミーティングまでに、各グループで話し合いの場を設けて、アイデアの実現に向けて会議をしてもらいます。年末の企業との研究会のイベントでアイデアを発表できるよう、検討を進めることとしました。

そのため、各グループで次回集まる日程を決定しました。